

年 組 名前 :

問1

ヴァンフォーレ^{こうふ}甲府の吉田前^{よしだぜんかんたく}監督は、
天皇杯決勝戦^{てんのうはいけっしょうせんまえ}前に、選手^{せんしゅ}に対し、何^{なに}を
と問いかけましたか。2つ^{ふた}答えてください。

-
-
-

問2

吉田前^{よしだぜんかんたく}監督は、リーダーの^ふ振る舞^まいで、
絶対^{ぜったい}見^みせてはいけ^きないと決^きめている
3つの「不^ふ」を^{こた}答えてください。

-
-
-

問3

強^{つよ}くて良^よいチームには、何^{なに}が^{はな}あると話^{はな}しましたか。

.....

サッカーJ2ヴァンフォーレ甲府を昨季の天皇杯優勝に導いた吉田達磨前監督が13日、南アルプス・若草生涯学習センターで「監督の仕事」と題して講演した。若手経営者にチームづくりや士気を上げる方法について語った。

吉田前監督は監督の仕事について、「できる最強のチームをつくり、結果に対する責任を取る」と説明。天皇杯決勝戦前には、選手にアロとしての使命を果たしたか、山梨の人に夢を与えられているかを問いかけたことなどを紹介した。

南アで吉田前V F 甲府監督が講演



チームづくりなどについて語る吉田達磨前監督
南アルプス・若草生涯学習センター

ビジネスもスピード大事

言葉や文化が違う外国人選手との接し方には気をつけたいという。

チームには出身や経験など背景が異なるさまざまな選手が集まり、目指す方向を一つにするためにコミュニケーションを重視。特に「不安」「不満」「不機嫌」は絶対に見せてはいけないと決めているといい、「喜怒哀楽はいいが不機嫌は言葉以上に伝わる。リーダーの機嫌を取るようになったら組織も人も成長しない」と述べた。

また、「サッカーもビジネスもスピードが大事」とし、判断や決断の指標となるコンセプトを浸透させることで「自分たちへの愛情や誇り、自信が生まれ、組織としての強さが出る」と説明。「強くて良いチームには誇りと高い倫理観がある」と話した。

講演は南アルプス青年会議所（下平健理事長）が例会の中で企画。メンバー約30人が参加した。

〈桑原久美子〉

(2023年8月15日付 山梨日日新聞 16面)